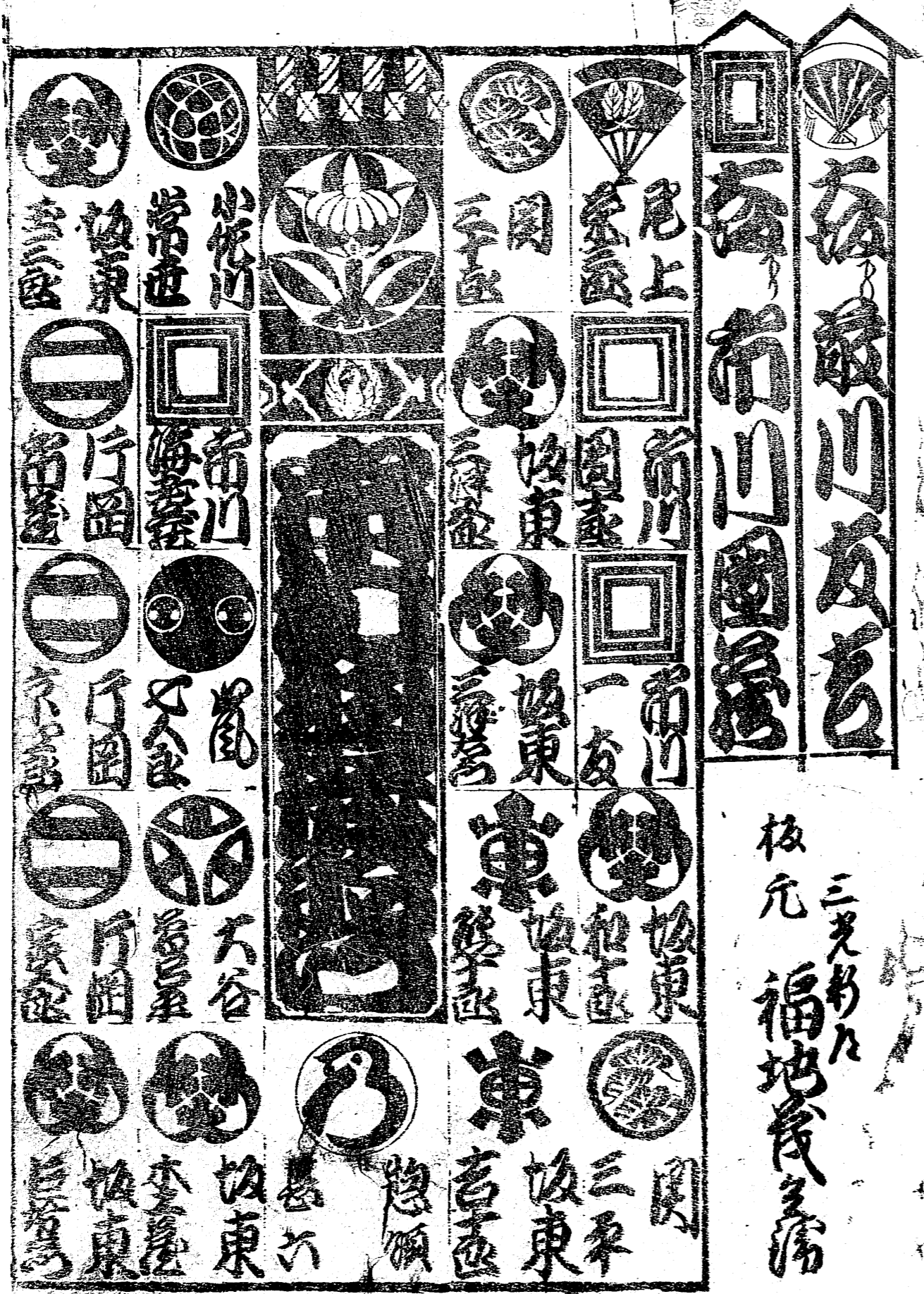


近世22.7-06-067



弁一番目

大将の心お任せして一長刀の御縁
 社人の御縁お任せして一長刀の御縁
 味方の御縁お任せして一長刀の御縁
 木実お任せお任せの間違の御縁
 徳相御縁の御縁お任せお任せの御縁
 君の御縁お任せお任せの御縁

大物御縁お任せ
 老御縁お任せ

大物御縁お任せ
 老御縁お任せ

明上り	尾上	藤原	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門
尾上	藤原	長門	長門	長門	長門

舟二番目

あふの波にまよひて舟の縁を三昧の舟に坐
 千代が妻をばあしに浮牡丹の舟人恨
 男の妻をばあしに浮牡丹の舟人恨
 舟の縁を三昧の舟に坐
 舟の縁を三昧の舟に坐
 舟の縁を三昧の舟に坐

海軍少将 中山みづ(竹沢大) 作

富本大 船大夫 日 島尾大夫 三島見崎徳
 富本雪前大夫 日 富土大夫 富本雪前大夫
 富本仲 大夫 日 佐代大夫 三島見崎徳

舟二番目 後人番目

あふの波にまよひて舟の縁を三昧の舟に坐
 千代が妻をばあしに浮牡丹の舟人恨
 男の妻をばあしに浮牡丹の舟人恨
 舟の縁を三昧の舟に坐
 舟の縁を三昧の舟に坐
 舟の縁を三昧の舟に坐

舟二番目

三島見崎徳

中山みづ(竹沢大) 作

後人

Handwritten text in the top-left quadrant of the grid.

後人

Handwritten text in the top-right quadrant of the grid.

後人

Handwritten text in the bottom-right quadrant of the grid.

淨瑠璃

三法

竹本後太夫

引落道貝建切落者
元相字丘衛門次子夫始之

寛永十一年
天保四年
二百二年相續

千鶴乃後大引付

天保三年

Handwritten vertical text in the bottom-left quadrant.